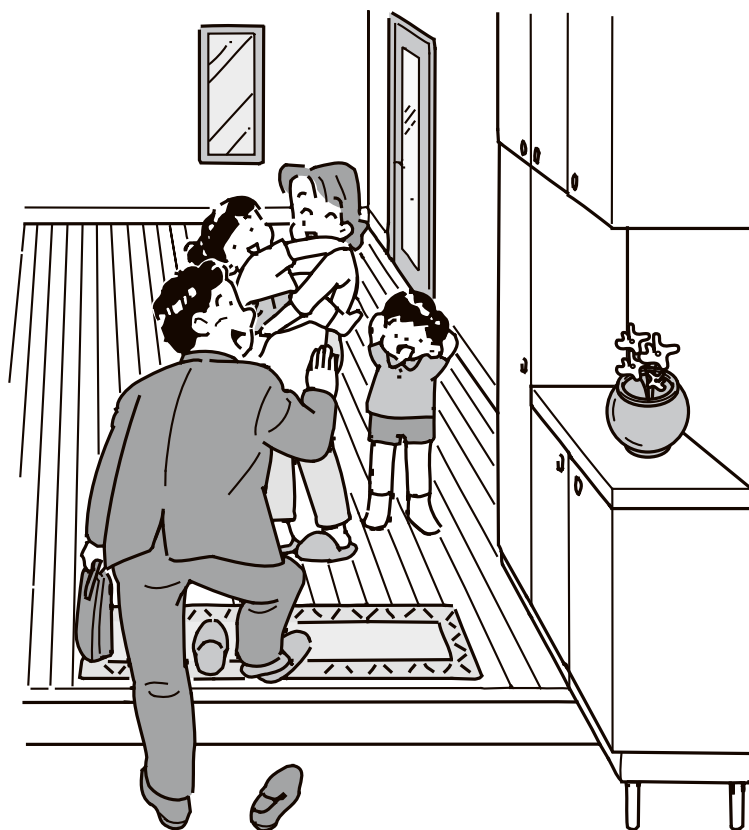


インテリア建材 TA 建具・玄関収納

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	2
■特に注意していただきたいこと	2～4
■ご理解いただきたいこと	5～7
■お手入れ方法	8
■調整方法について	9～16
■アフターメンテナンスについて	17
■商品保証について	18
■使用可否条件について	19

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
従って、「インテリア建材商品」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。

お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店または、当社お客さま相談センターまでご相談ください。
- ご使用前に点検して異常がある場合は使用せず、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

●この「取扱い説明書」では、危険度(または事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

用 語	意 味
⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

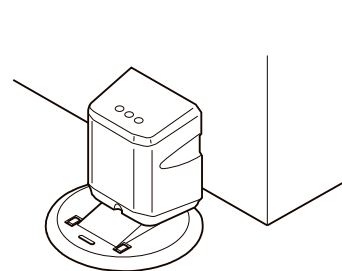
フラップ式ドアストッパー 外付けタイプ

⚠ 警 告



●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。
医療機器誤作動のおそれがあります。

- (1) 体内埋込型機器
- (2) 生命維持用機器
- (3) 装着型心電計等



ドアストッパー

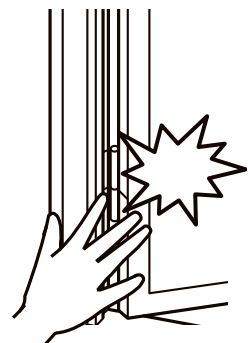
建具・収納共通

⚠ 警 告

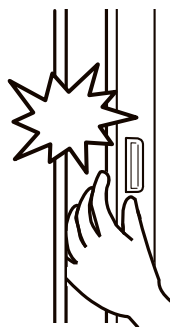


●製品の開閉にあたっては、部品の可動部やすき間に手や足を置かないでください。
指を挟んでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

【すき間の例】



縦枠とドア本体のすき間



縦枠と引戸のすき間



折れ戸のすき間



ドアや引戸と床のすき間

※また、温湿度環境によって扉にソリが生じ、すき間が大きくなる場合があります。

特に注意していただきたいこと

建具・玄関収納共通

！ 注 意

- 製品に過度な荷重や衝撃を加えないでください。

製品が破損・脱落したり、収納物が落下したりし、ケガをするおそれがあります。

ガラスを使用している製品ではガラスが割れ、ケガをするおそれがあります。

特にお子さまにはご注意ください。

寄りかからない・ぶつからない



よじ登らない・ぶら下からない

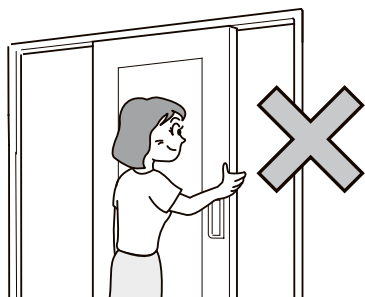


建具・玄関収納共通

！ 注 意

- 製品の開閉にあたっては、必ず把手・引手・手掛けなどの操作部を持って操作してください。

扉の急開・急閉の際、すき間に挟まったり、扉がぶつかって思わぬケガをするおそれがあります。



室内建具・玄関収納

！ 注 意

- 調整時、丁番の固定ねじをゆるめた場合は必ず締付けて、ガタツキがないことを確認してください。

扉脱落の原因になるおそれがあります。

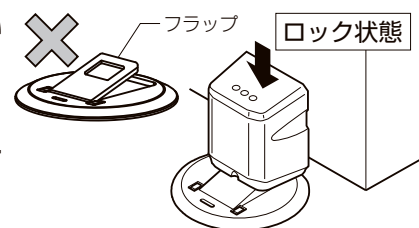
- 扉の下に物を挟まないようにしてください。

扉が持ち上がり、扉脱落の原因になるおそれがあります。

フラップ式ドアストッパー 外付けタイプ

！ 注 意

- 床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。
思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、ドアストッパーの本体カバーを下げてロック状態にし、扉を固定してください。
強い風などで勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをするおそれがあります。



玄関収納耐荷重

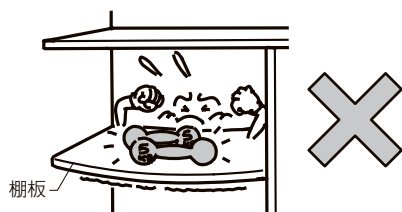
！ 注 意

- 各製品の耐荷重を超えないようにお使いください。
製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。

※耐荷重は製品を安全にお使いいただくための荷重です。棚板・製品がたわまないわけではありません。

(耐荷重：均等に物を置く想定)

1 個所に集中して物を置くと耐荷重以下であってもたわみが大きくなります。



■玄関収納耐荷重

部位	W 幅	耐荷重	備考
カウンター	—	10kg	支持キャビネット 1 台あたりの耐荷量
可動棚板	400	4kg	靴 2 足
	600	6Kg	靴 2 ～ 3 足
	740	7.5kg	靴 3 ～ 4 足
固定棚板	—	10kg	W 幅に関わらず一定
地板	—	20kg	W 幅に関わらず一定

■玄関収納棚板取付け可能枚数

取付け可能枚数以上は取付けしないでください。
キャビネット落下の原因になります。

キャビネット種類	キャビネット高さ	可動棚 (取付け可能枚数)	固定棚 (取付け可能枚数)
ウォール	320	1	—
	321 ～ 544	2	—
	545 ～ 960	3	—
ベース	784 ～ 880	4	—
	881 ～ 1264	7	—
トール	1296	6	1
	1297 ～ 1840	9	1
	1841 ～ 2160	11	1
	2161 ～ 2320	12	1

ご理解いただきたいこと

考えられる主な原因を例として記載しています。

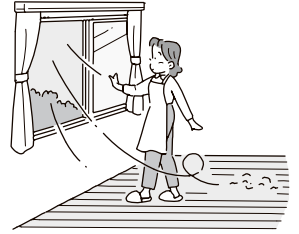
◆ 使用上のお願い ◆

共通

●ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします

日常的に通気や換気をこまめに行ってください。

商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、完全になくすことは困難です。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。また、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間閉め切っていた際などは、特にご注意ください。



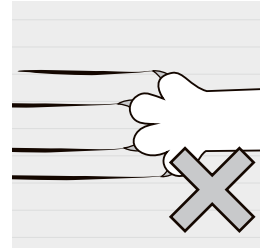
●表面のシートや塗装が浮いたり、はがれたりすることがあります



- 表面のシートや塗装にダメージを与えてしまった



- テープやシールを貼らない
- とがったものや硬いものでひっかかない(刃物やペットのツメなど)
- 熱いものを直接置かない



●清掃などにより、製品や部品の表面が変色・変質することがあります



- 酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)などと化学反応してしまった



- 取扱い説明書に記載のお手入れ方法を守る
- ひどい汚れ、落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて硬く絞ったぞうきんで拭き取り、洗剤は除去する

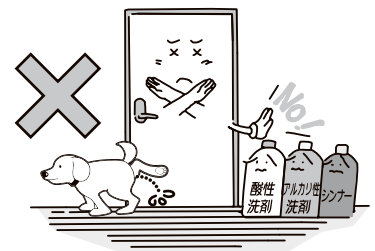
●製品の表面が膨らんだり、変色・変質することがあります



- ひんぱんに水がかかる状況に置かれ、水分を吸ってしまった
- 水や洗剤など液体を放置し、染み込んでしまった



- 水が直接かからないようにする
- 水や下記液体が製品にかかった場合はすぐに拭き取る
油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・芳香剤・除湿剤・アロマオイル・洗剤・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶・ペットの排泄物・その他の液体など



●樹脂部分が変色、変形したり、溶けたりすることがあります



- 樹脂材料が薬品などの液体と化学反応を起こしてしまった



- 下記液体が製品にかかった場合はすぐに拭き取る
油・殺虫剤・除光液・化粧品・整髪料・毛染め剤・脱色剤・うがい薬・芳香剤・除湿剤・アロマオイル・洗剤・漂白剤・除菌クリーナー・紅茶・ペットの排泄物・その他の液体など

●油性ペンやインクが清掃しても落ちないことがあります



- 油性ペンやインクをはじく仕様の製品ではないため
※濡らして絞ったぞうきんや中性洗剤で取れる場合もありますが、取れないこともあるのでご注意ください



- 製品に油性ペンやインクを使って何かを描いたりしない

共通

●ソリや変色、ひび割れ、部材の伸縮などが起こることがあります



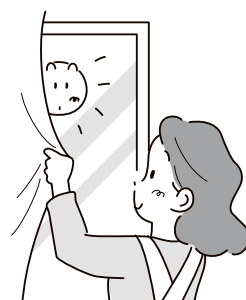
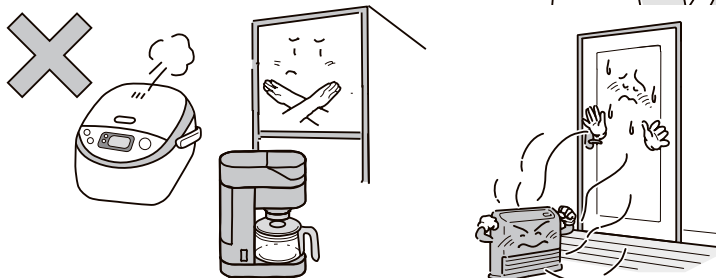
原因

- ・室内と廊下や、室内間の温度・湿度差が大きい
- ・熱や水蒸気が直接当たっている
- ・直射日光が長期間当たっている



対処

- ・室内と廊下や、室内間の温度・湿度差を少なくする
- ・暖房器具や電化製品などから発生する熱や水蒸気が直接当たらないようにする
- ・電化製品を収納内部に入れたまま使用しない
- ・直射日光が当たらないように、カーテンやブラインドなどを使う



アームストッパー

●アームストッパーや丁番が壊れることがあります



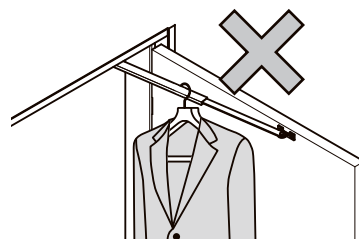
原因

- ・アームストッパーや丁番に過度な力が加わった
- ・部品に荷重がかかった



対処

- ・アームストッパーで止まる角度以上にドアを開けない
- ・アーム部分に物を掛けない



シリンダー錠

●鍵の抜き差しや回転がしづらくなることがあります



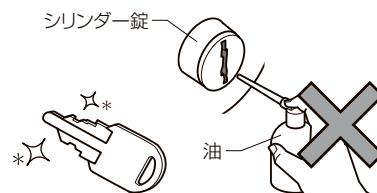
原因

- ・キーにゴミや異物が付着している
- ・鍵穴に油を注してしまい、注した油がホコリを吸着してしまった



対処

- ・鍵の汚れを拭き取り、きれいにする
 - ・鍵穴に鉛筆(柔かい芯)の粉や鍵穴専用潤滑剤などを使用し、滑りをよくする
- ※鉛筆を使用する場合は、キーの切込み面を鉛筆でなぞったあと、キーの抜き差しを数回行う。



把手・つまみ

●把手やつまみがゆるんだり、ガタついてくることがあります



原因

- ・経年使用により、ねじがゆるんでしまった



対処

- ・手回しドライバーで固定ねじを締め直す

ご理解いただきたいこと

考えられる主な原因を例として記載しています。

◆ 使用上のお願い ◆

フラップ式ドアストッパー 外付けタイプ

●ドアストッパーの作動が悪くなることがあります



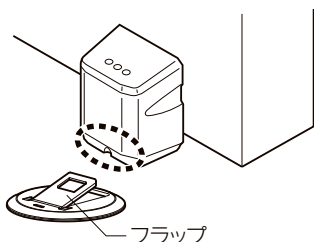
- 異物が付着して、部品が正しく作動しなくなった
- 床にワックスや洗剤を使用した際に、床付け部品が固着し動かなくなった
- 調整不足や、経年使用により建付けが悪くなり、部品が正しく作動しなくなった



- 部品まわりのゴミやほこり、異物を取り除く
※引っかかったゴミやホコリはフラップを引き上げて取り除いてください
掃除機で無理にこするとキズの原因になります
- ※ワックスや洗剤は部品内に入り込まないようにしてください
- ※ジュースなどの液体をこぼした場合は、フラップを引き上げて濡れた布で拭き、よく乾かしてください
- マグネットに付着した異物を取り除く
- 建付け調整などの調整を行う



不明な点がある場合は、
お取扱いの施工店または
当社お客さま相談センターに
お問い合わせください。



ソフトモーション部品共通

●ソフトモーションが作動しなくなることがあります



- 調整不足や、経年使用により建付けが悪くなり、部品が正しく作動しなくなった
- 部品に潤滑油などを塗布し、部品が破損し作動しなくなった
- 経年劣化により部品が破損し、作動しなくなった(部品の交換が必要です)



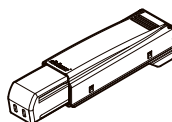
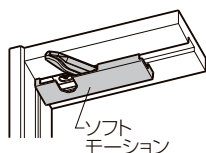
- 調整方法があるものは各種調整を行う
- ソフトモーション部品には潤滑油などを塗布しない
- ソフトモーション部品を交換する
(保証期間を超えている場合、有償対応になります)



不明な点がある場合は、
お取扱いの施工店または
当社お客さま相談センターに
お問い合わせください。

ドアソフトモーション

玄関収納ソフトモーション



お手入れ方法

建具・造作材・玄関収納

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
- ※建具の溝加工デザインの溝部は、表面を損傷させる場合がありますので、水拭きはしないでください。
- 汚れが付着している場合、きれいな乾いた柔らかい布でから拭きしてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて硬く絞ったぞうきんで清掃し、洗剤はきれいに拭き取ってください。

**絶対に使用しないでください
(表面の塗装などが落ちることがあります)**

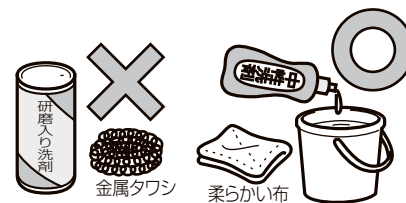
酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)など



- 使用上に異常・不具合が生じ、ご自身で対処できない場合は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

ガラスを使用している製品

- ガラスはキズつけないように取扱ってください。
- ※金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭き取ってください。また、乾いた柔らかい布でから拭きをしてください。



調整方法について

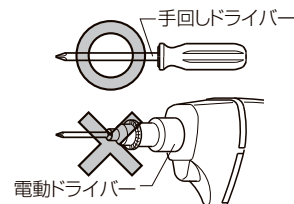
●ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、以下の要領で調整を行ってください。

⚠ 注 意

- 調整時、丁番の固定ねじをゆるめた場合は必ず締付けて、ガタツキがないことを確認してください。
扉脱落の原因になるおそれがあります。

お願い

- 掲載されていない調整は無理に行わないでください。製品が破損することがあります。ご不明な点は、お取扱いの施工店または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
- 建付け調整は手回しドライバーで行ってください。部品が破損することがあります。

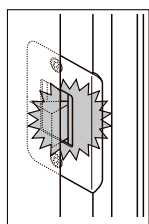
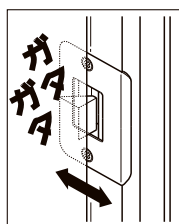


■調整方法を予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

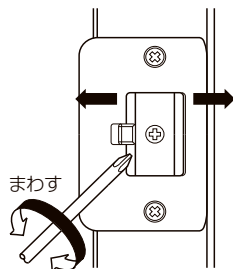
室内ドア／ストライクによる建付け調整

ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

- ラッチがストライクの中でガタつく
- ラッチがかからない



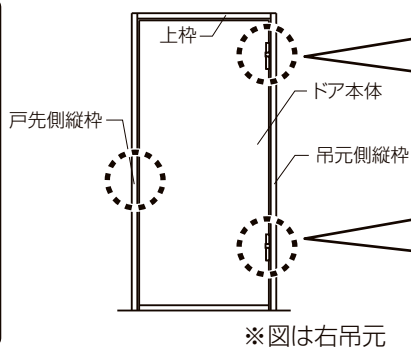
調整可能範囲	
前	(3mm)
後	(3mm)



室内ドア／丁番による建付け調整

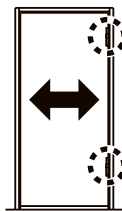
丁番の固定ねじ、調整ねじは回し過ぎると外れたり、破損する場合がありますので、ご注意ください。

ドア建付け調整方法動画

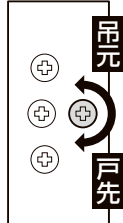


①左右調整

- 本体の上下の丁番両方で調整します。
- ①本体固定ねじをゆるめます。
- ②左右調整ねじを回して調整します。
- ③①でゆるめた固定ねじを締めます。
- ※全ての固定ねじのゆるみがないことを確認してください。

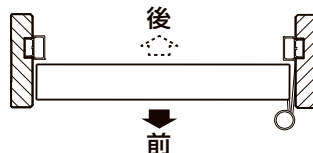


調整可能範囲	
吊元側	(1mm)
戸先側	(2mm)

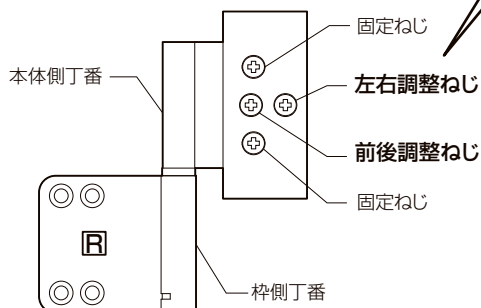
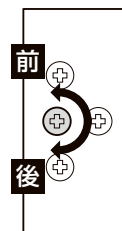


②前後調整(吊元側)

- 本体の上下の丁番両方で調整します。
- ①本体固定ねじをゆるめます。
- ②前後調整ねじを回して調整します。
- ③①でゆるめた固定ねじを締めます。
- ※全ての固定ねじのゆるみがないことを確認してください。



調整可能範囲	
前	(2mm)
後	(2mm)



調整方法について

■異常時の対処方法

現 象		対処方法			参照手順
		調整部位	調整部品	調整内容	
ドア本体が枠に 当たって開閉しにくい	ドア本体が戸先側 縦枠に当たっている	左右調整 ねじ	上丁番	ドア本体を吊元側に寄せて ください。	P.9 1
			下丁番		
	ドア本体の上部が 戸先側縦枠に 当たっている		上丁番	①ドア本体を吊元側に寄せてく ださい。	P.9 1
			下丁番	② (①でもあたる場合) ドア本体を戸先側に出してくだ さい。	
	ドア本体が吊元側 戸当りに当たっている	前後調整 ねじ	上丁番	①ドア本体を前に出してください。	P.9 2
			下丁番		
ドア本体が 閉まりきらない (かからない)	ストライクの 穴の手前で ラッチが 止まっている	調整ねじ	ストライク	ストライクを前に出してください。	P.9
	ドア本体上部が 戸先側戸当りに 先に当たっている	前後調整 ねじ	上丁番	①ドア本体を前に出してください。	P.9 2
			下丁番	② (①でもあたる場合) ドア本体を後ろに下げてください。	
	ドア本体下部が 戸先側戸当りに 先に当たっている		上丁番	② (①でも改善しない場合) ドア本体を後ろに下げてください。	P.9 2
			下丁番	①ドア本体を前に出してください。	
ラッチがガタつく	ストライクの壁面とラッチの間に 余裕がある	調整ねじ	ストライク	ストライクを後ろに下げてください。	P.9
戸先上部の 光漏れが 気になる	すき間が均等でない (上が広い)	前後調整 ねじ	上丁番	② (①でも改善しない場合) ドア本体を後ろに下げてください。	P.9 2
			下丁番	①ドア本体を前に出してください。	
戸先下部の 光漏れが 気になる	すき間が均等でない (下が広い)	前後調整 ねじ	上丁番	①ドア本体を前に出してください。	P.9 2
			下丁番	② (①でも改善しない場合) ドア本体を後ろに下げてください。	

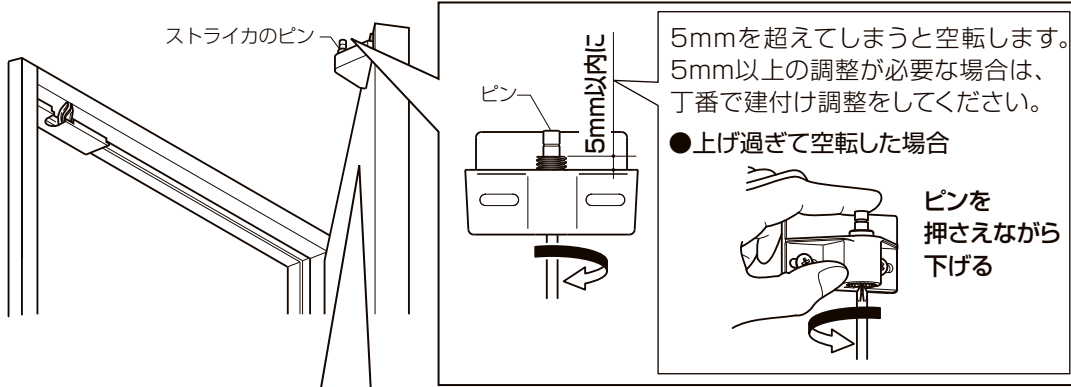
不明な点がある場合は、お取り扱いの施工店またはお客さま相談センターにお問い合わせください。

室内ドア(ソフトモーション)/ストライカの調整

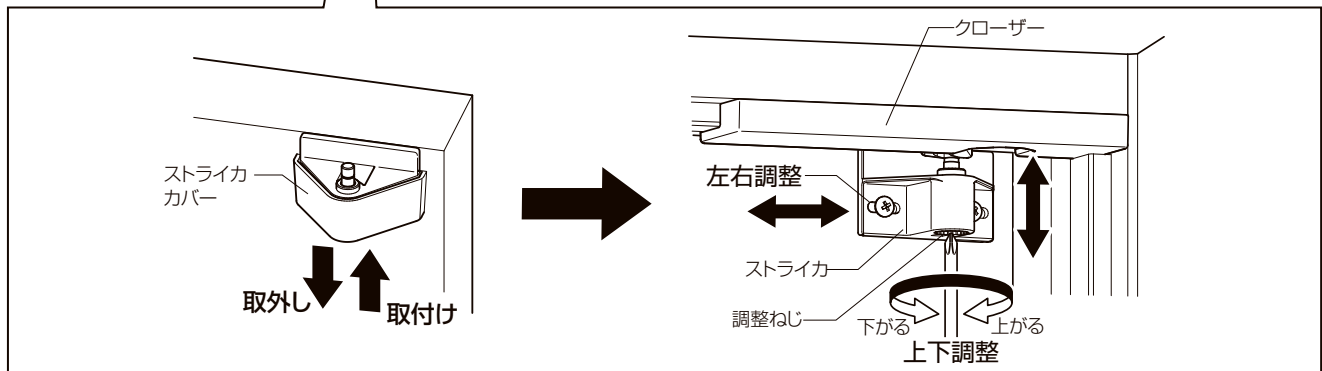
お願い

- ピンを上げ過ぎるとねじが空転します。空転した場合は、指でピンを押さえながら調整ねじを回して、ピンを下げてください。
- ソフトモーションを調整する前に、丁番でドア本体の建付け調整を行ってください。

- 調整はストライカカバーを取外し、行います。調整後は再度カバーを取付けてください。



調整手順 動画

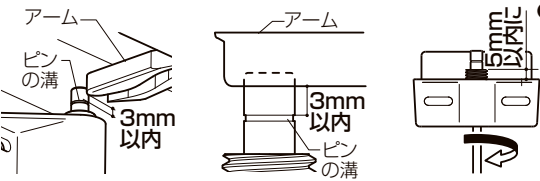
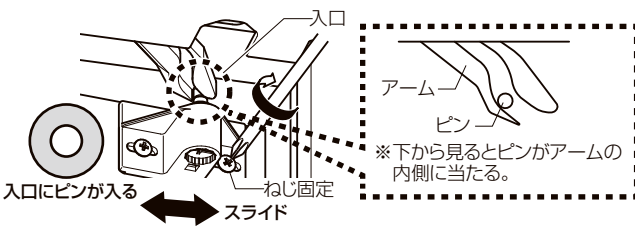


■ソフトモーション機能異常時の対処方法

現 象	原因	対処方法
ドアが 閉まりきらない	アームとストライカの位置がずれています	上下方向 上下調整でストライカピンの溝とアームの下面を合わせてください。 左右方向 ねじをゆるめてストライカを左右に動かし、アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。調整後は再度ねじを締めなおしてください。
	換気扇が強い 極端に強い風が吹いている	換気扇を弱める。 強風が入ってこないように窓を閉める。
	クローザーカバーとストライカが接触している	丁番の上下調整でドアを下げてください。 ▶ ドアの建付け調整 P.24、P.25
	ドア本体が反っている	丁番の建付け調整を行なった上で、ストライカの調整を行ってください。改善されない場合、ドア本体の交換が必要です。 ▶ ドアの建付け調整 P.24、P.25
		●上げ過ぎて空転した場合 ピンを押さえながら下げる

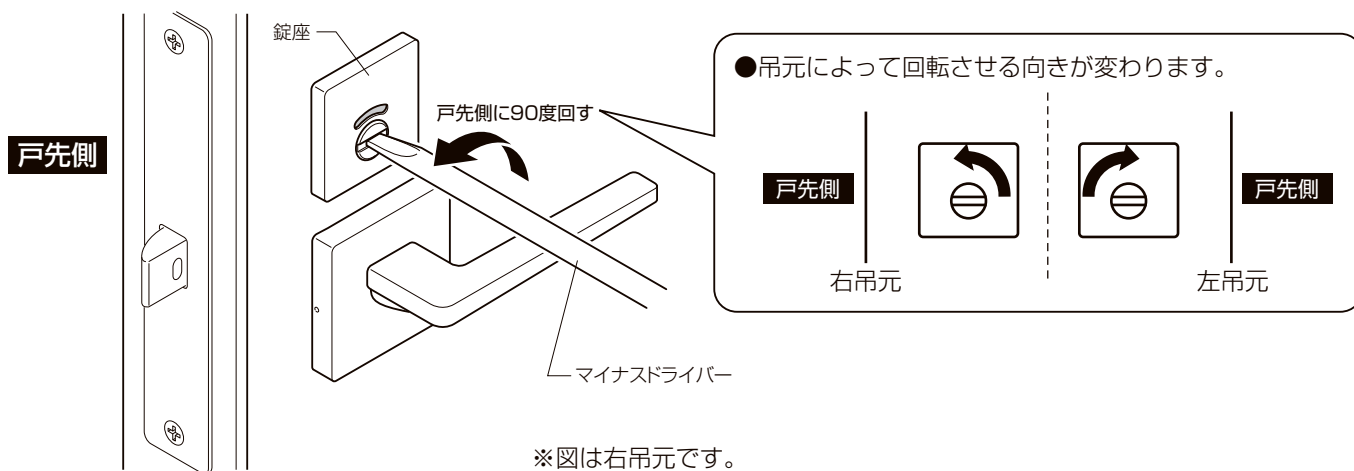
調整方法について

■ソフトモーション機能異常時の対処方法

現 象	原因	対処方法	
ドアを開けると アームが戻る	アームとストライカの位置がずれています	上下 方向	上下調整でストライカピンの溝とアームの下面を合わせてください。  ●上げ過ぎて空転した場合 ピンを押さえながら下げる
		左右 方向	ねじをゆるめてストライカを左右に動かし、アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。調整後は再度ねじを締めなおしてください。 
ブレーキが 全く効かない	ダンパーの破損	クローザーの交換が必要です。	
	ストライカピンの破損	ストライカピンの交換が必要です。	
ブレーキの利き具合 がドアによって違う	商品特性上問題ありません。	本体の重量、建付け、部屋の広さ、風の強さ・向きにより同一にはなりません。	
強く閉めると 丁番部分がおおる	ドアを強く閉めすぎている。	あおらない強さで閉めてください。 繰り返す行くと丁番取付け部がゆれ、丁番外れの原因になります。	

室内ドア／表示錠・簡易錠 非常解錠方法

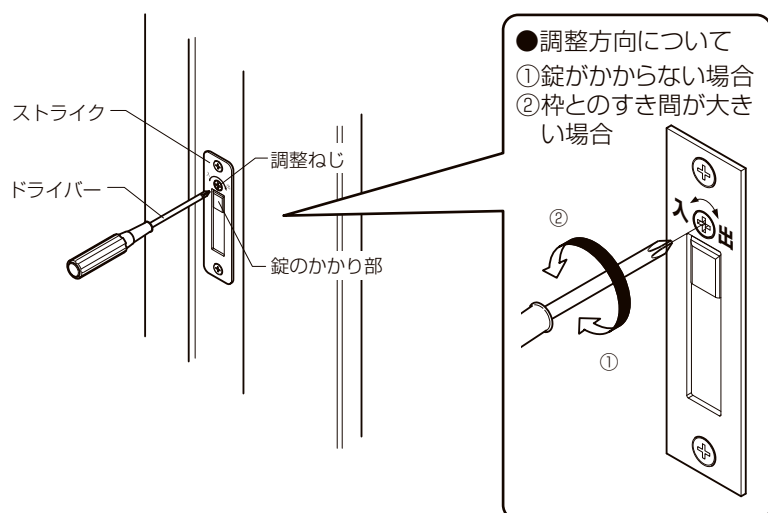
- 錠座の凹部にマイナスドライバーまたはコイン(10円玉)を差し込み、戸先側へ向かって90度回します。



室内引戸／引戸錠のかかり調整

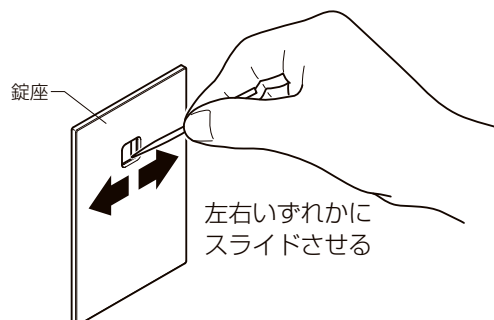
■引戸錠のかかり調整

- ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



室内引戸／プッシュ錠 非常解錠方法

- 錠座の表示窓(解錠穴)のくぼみに先の細いもの(つまようじなど)を挿入し、横へスライドさせます。



調整方法について

室内引戸 Vレール方式／戸車調整

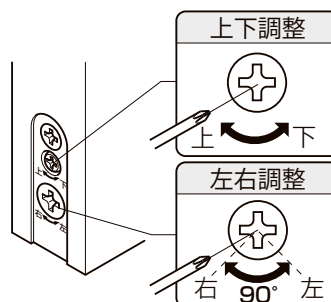
■上下調整（調整幅＋4mm、－2mm）

- 本体両下端の上下調整ねじを回して調整してください。

■左右調整（調整幅±2mm）

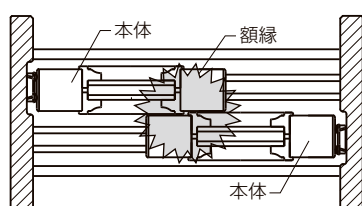
- 本体両下端の左右調整ねじを回して調整してください。

※左右調整ねじの可動範囲は90°です。これを超えて無理に回さないでください。



※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。

●2枚建て・3枚建て



Vレール引戸
建付け
調整動画



973347946002

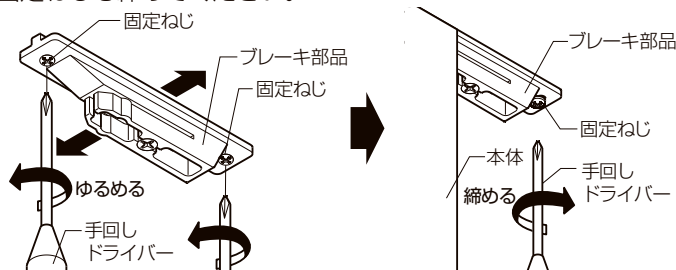
！ 注 意

- 本体と上レールへのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの本体の調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをするおそれがあります。

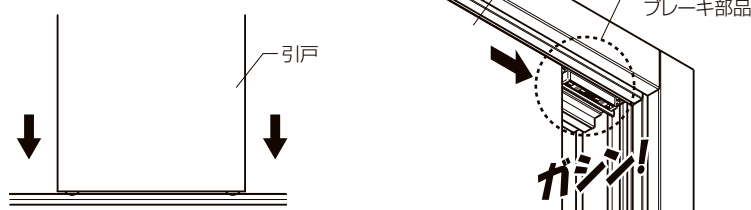
室内引戸 Vレール方式／ブレーキ調整

■ブレーキの左右調整

- 本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。
上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。

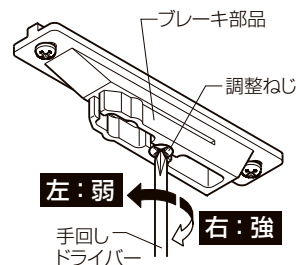


- 引戸がブレーキ部品に当たる時は、戸車の上下調整ねじを回して引戸を下げてください。



お願い

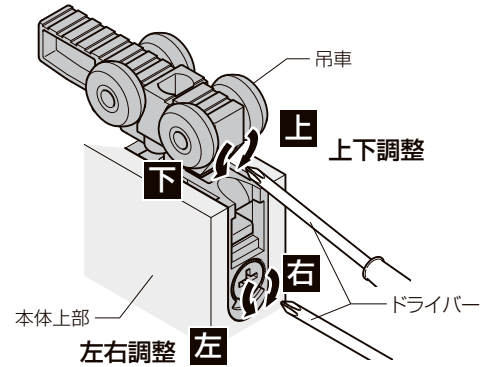
- 調整ねじを弱方向に回す場合、ブレーキの表面からねじ頭の出寸法が1.5mm以内になるように調整してください。
回しすぎるとねじが抜けます。



室内引戸（上吊）／吊車による建付け調整

■上下調整（調整幅+4mm、-1mm）

- プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8（-1、+2）mmが標準です。
- ※本体と床のすき間が範囲からはずれていると、ガイドピンと引戸の下部がこすれる場合があります。



■左右調整（調整幅±2mm）

- 左右調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

上吊引戸 引込み調整

■ソフトモーション機構の調整方法

現 象	原 因	対処方法
ブレーキが効かない	●吊車（ソフトモーション付）のラッチが上がっている	本体を全開した後、全閉することを1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が自動復帰します。

■ソフトモーションには商品の構造上、以下の現象が発生します。

製品不具合ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・開閉の際にカチッという部品の作動音が生じます。
- ・バネを採用している為、扉を開ける際に途中扉が重く感じる部分があります。
- ・オイルダンパー（緩衝装置）を使用している為、夏季と冬季（部屋の温度差）で引き込み速度が異なる場合があります。
- ・扉の重量、建付け状況により、扉の引き込み速度が異なる場合があります。
- ・重量の重い扉を強めに閉めると、ブレーキ感が弱く感じる場合があります。
- ・重量の軽い扉を勢いよく閉めると、扉戸先の浮き上がり（つかかり）が生じる場合があります。

クローゼット折れ戸／ピボットによる建付け調整

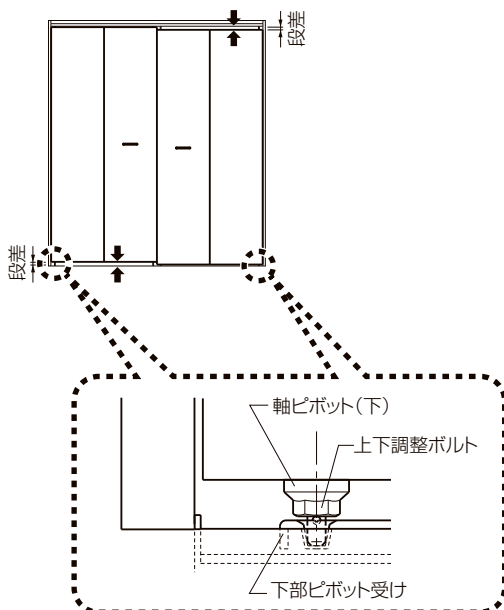
※扉の段違い(上・下)および左右のチリを調整します。

■段違い(上・下)の調整

●扉の取付け後、上下の目地が合っていない場合

※付属の調整スパナで軸ピボット（下）の上・下調整ボルトを回して調整します。

※上下調整量：±2mm



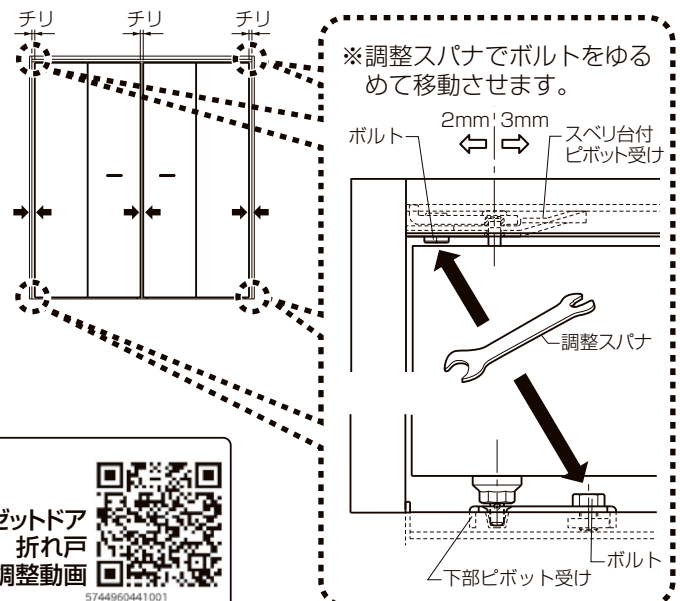
■チリ(左・右)の調整

●左右のチリが大きい場合

※付属の調整スパナで上・下のピボット受けのボルトをゆるめ、左右方向の調整をした後、ボルトを締付けます。

※左右調整量：吊元側 2mm、可動側 3mm

注) 調整完了後、上・下のピボット受けのボルトを同梱の調整スパナで本固定してください。



クローゼットドア
折れ戸
建付け調整動画



5744960441001

調整方法について

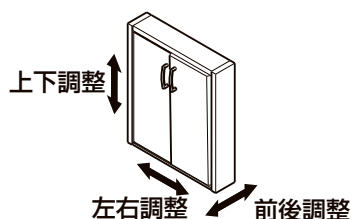
クローゼット開き戸・玄関収納／スライド丁番による建付け調整

！ 注 意

- 調整時、丁番の固定ねじをゆるめた場合は必ず締付けて、ガタツキがないことを確認してください。
扉脱落の原因になるおそれがあります。

お願い

- 丁番カップや丁番座が扉や縦枠からはずれかけている場合は使用を控えて点検を行ってください。



スライド丁番
建付け調整動画



973347945002

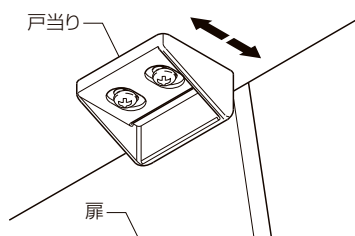
室内側 収納内部側	①前後調整	調整可能範囲 前(3mm) 後(1mm) ※調整後、調整ねじを必ず締め直してください
	②左右調整	調整可能範囲 吊元側(2mm) 戸先側(2mm)
	③上下調整	左吊元 調整可能範囲 上(2mm) 下(2mm) 右吊元 調整可能範囲 上(2mm) 下(2mm)

クローゼット両開き戸／戸当りによる調整

- 扉と戸当りがあたらな場合は、戸当り取付けねじをゆるめて調整してください。

【調整範囲】

(奥行き方向：3mm)



アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお買い求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

修理の依頼先

- ・ お買い求めの取扱い店
- ・ 製品に表示している連絡先
- ・ LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL 公式通販サイトよりご注文いただけます。

●リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、
お買い求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において、お客様がお買い求めの建築会社、工務店、施工店又は販売店（以下「取扱店」といいます）にご相談いただいた場合に、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中、製品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い求めの取扱店にご相談ください。お買い求めの取扱店へご相談出来ない場合には、当社商品相談窓口までご相談ください。

- 対象商品…………… インテリア建材商品
- 保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。
- 「有料扱い」のご注意…………… 建主さまがお持ちの工具で簡単に修理できるケース、または専門工事を伴うケースがありますので、事前にお買い求めの取扱店様にご相談ください。メーカー修理を依頼される場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 保証内容…………… 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
- 免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
 - ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
 - ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
 - ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
 - ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
 - ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
 - ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客様相談センターにお問合わせください。

※次のような消耗部品については、雨水侵入に伴う10年間の保証期間中であっても有料となります。(当社の不具合を除く)
ガラス押えゴム(グレチャン、ビード、ガラスパッキンなど)、気密部品(気密材、気密パッキン、気密ピースなど)、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、カバー材、戸当り部品(戸当りパッキン、戸当りキャップなど)、戸車、操作つまみ、排水部品、排煙窓のワイヤー、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂部品

※BL認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談時のため、メモしておくと便利です。

■販売店名

TEL ()

■工務店名

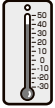
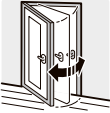
TEL ()

2025 年 4 月

使用可否条件について

使用可否条件は以下の通りです。

なお、「使用不可」に記載された環境における商品の使用は免責事項に該当します。

	使用可能	使用不可	理由
土足 	土足で踏まれない環境	土足で踏まれる環境	砂や土等により、傷や作動不良等の原因となります。
温度・湿度 	一般住宅同等の使用環境	異常な高温、低温、多湿などの環境	木質製品のため伸縮や表面の剥がれ等の原因となります。
水 	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	水がかかる環境	木質製品のため水分を吸収し、表面の剥がれや膨れの原因となります。
油分・粉じん 	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	油分や粉じんが発生する環境	製品の変色、変質などの原因となります。
薬品 	一般住宅同等の使用環境 ※付着した場合は、素早く拭き取ってください。	薬品が付着する環境	製品の変色、変質などの原因となります。
使用方法 	一般住宅同等の使い方	過度な衝撃や負荷が加わる環境	製品の破損、脱落、作動不良等の原因となります。
使用頻度 	一般住宅同等の使用環境	使用頻度が多い環境	部品摩耗による作動不良等の原因となります。

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

交換用部品については、リクシルストアまで

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL公式通販サイトよりご注文ください。

■リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、お買い求めの取扱い店または

当社お客さま相談センター ☎0120-126-001 にご連絡ください。

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAN-929A	事業所コード FV46	2026.8.1発行
---------------	-------------	------------

